

発電所だより 2025年 7月号

東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ
女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111
2025年7月発行

《女川原子力発電所 防潮堤かさ上げ工事「土木学会賞」「地盤工学会賞」受賞について》

当社と鹿島建設株式会社が共同で進めたプロジェクト「女川原子力発電所 防潮堤かさ上げ工事」が、2024年度の土木学会「技術賞」および地盤工学会「技術業績賞」を受賞しました（鹿島建設と共同受賞）。いずれの賞も、土木・地盤分野における優れた技術や社会の発展に大きく寄与したことが認められたプロジェクトに贈られる最高峰の技術賞であり、当社としては初の受賞となります。

本工事は、東日本大震災の教訓と最新の科学的知見を踏まえ、津波や地震などの自然災害に対する安全性をさらに高めることを目的に実施しました。完成した防潮堤は、海拔29mで国内最高水準の高さを誇り、漂流物（船舶・車両等）の衝突や地盤の液状化といった複合的なリスクにも対応できる設計となっています。

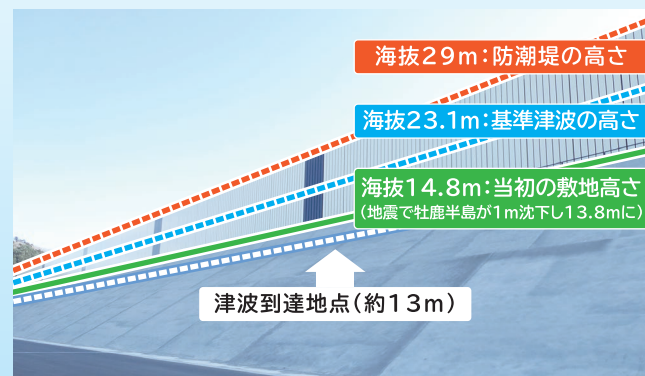
今回の受賞は、自然災害に備えた原子力発電所の安全性向上の取り組みや、課題克服に向けた工夫や技術開発が社会や技術の発展に大きく貢献したものと高く評価いただいたものです。当社としては、引き続き、「原子力発電所の安全対策に終わりはなし」という確固たる信念のもと、さらなる安全性の向上に取り組んでまいります。

【防潮堤かさ上げ工事の概要】

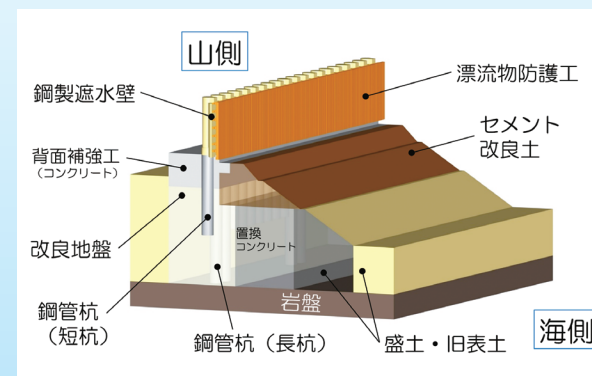
- ・津波の流入を防止するため、鋼管式鉛直壁と盛土堤防で構成された総延長約800mの防潮堤を設置しました。
- ・敷地前面で想定される基準津波の最高水位を23.1mと評価し、防潮堤を海拔29mの高さとしました。また、津波による漂流物（船舶・車両等）との衝突に備え、防潮堤前面に漂流物防護工を設置しました。
- ・2013年5月に着工した本工事は、工事途中での構造変更（当初設計よりもさらに安全性を向上させるための追加補強）や、施工済みの杭の深部の地盤改良など、当社にとって前例のない、多くの困難が伴う難易度の高いものでしたが、各種試験や施工方法の工夫により、品質と安全性を確保しながら、2024年3月に完成しました。



総延長約800mの防潮堤（全体像）



海拔29mの防潮堤



防潮堤の構造（イメージ）



防潮堤を点検する発電所員



土木学会表彰式
（左から）東北電力 土木建築部 尾形部長、尾崎部部長

このような栄誉ある2つの賞を受賞できたことを、大変うれしく思います。

防潮堤は、10年以上にわたる工事を経て完成したもので、工事に携わった多くの関係者の努力と技術力の結晶です。今後も最新の知見を取り入れながら、原子力発電所の安全性の向上はもとより、技術や社会の発展にも貢献できるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。



女川原子力発電所 土木建築部長 小笠原 義浩

《第24回東北電力図画コンクールの作品を募集しています》

当発電所では、毎年、小学生以下の皆さんを対象に「東北電力図画コンクール」を開催しております。前回(第23回)のコンクールでは4,195点と多くの作品をご応募いただきました。

24回目となる今回も以下のとおり、作品を募集しますので、ぜひご応募ください。

テーマ

想像の海の生きものたち ～「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!～

募集期間 8月31日(日)まで

応募対象 小学生以下の皆さん

各賞 最優秀賞1名、優秀賞7名、審査委員特別賞9名、奨励賞20名
◎ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈します。

用紙 A4(210mm×297mm)の画用紙

応募方法 作品の応募には所定の応募票が必要となります。
応募票をご希望の方はコンクールの事務局にお問い合わせください。

作品の選考 一次選考(9月上旬) :審査委員により一次選考を行い、入選作品(200点程度)を決定します。

二次選考(10月中) :入選作品は、女川原子力PRセンター内に展示し、見学者に投票していただきます。

最終選考(11月中) :二次選考の結果を踏まえ、審査委員により表彰作品を決定します。

注 意 事 項

- ・1人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。
- ・絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
- ・貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集などを行った作品は選考対象外になります。

お問い合わせ先

女川原子力PRセンター内
「東北電力図画コンクール」事務局

電話番号 0225-53-3410

受付時間 9:30～16:30まで

休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合翌日)

第23回 最優秀賞作品



マンボウロケット

熊谷 春輝さん(石巻市)



《「女川牡鹿フォトフェスティバル2025」を開催します》

7月27日(日)に開催される「おながわみなと祭り」に併せ、女川原子力発電所地域総合事務所では、写真展「女川牡鹿フォトフェスティバル2025」を開催します。

女川町・牡鹿半島(離島部を含む)で撮影された、風景・グルメ・日常の一コマなど、さまざまな写真を展示します。当日、会場では展示作品の一般投票も実施しますので、お気に入りの作品に投票をお願いいたします。

祭りに併せてぜひお越しください(入場無料)。

開催日時 7月27日(日)10:30～16:00

会場 東北電力女川原子力発電所地域総合事務所1階
(住所:女川町女川二丁目15番地1)

お問い合わせ先 s.chiikisougou.ut@tohoku-epco.co.jp



昨年の写真展(写真87枚を展示)

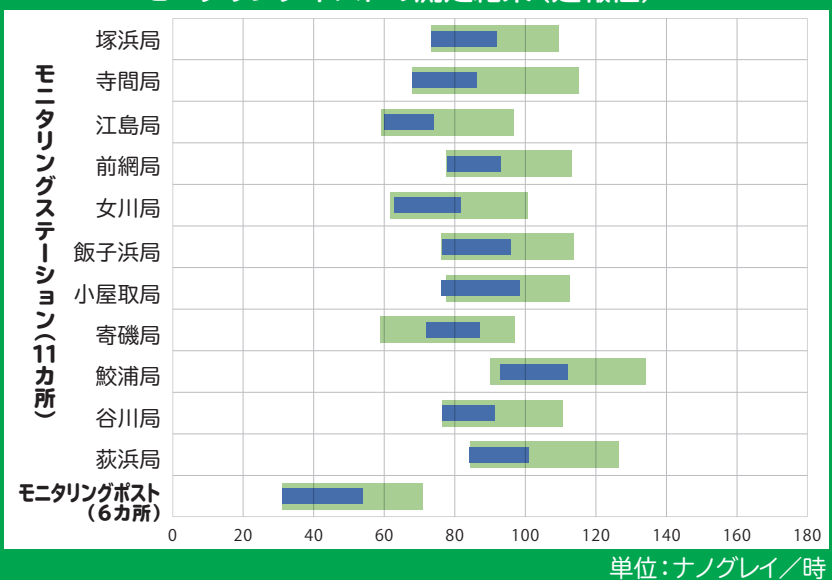
《発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングステーション※¹やモニタリングポストで測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。2025年6月の測定結果は以下のとおりで、発電所周辺の放射線量は安定しており、発電所の運転による有意な変化はなく、環境への影響はありません。

モニタリングステーションとモニタリングポストの設置地点



2025年6月のモニタリングステーションとモニタリングポストの測定結果(速報値)※²



※¹ モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※² モニタリングポストの測定値は、検出器の種類が異なるため、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないことから、モニタリングステーションの測定値より20～40ナノグレイ/時程度低い測定値となっています。

グラフの見方

